



2024. 12. 1

12月 ちとせだより

幼保連携型認定こども園
神戸YMCAちとせ幼稚園

誕生日を迎えると、周りから「おめでとう！！」と祝ってもらう嬉しい日だと思いますが、この誕生日は当たり前のことですが、誰にでも必ず1年に1回やってきます。人として素晴らしいかどうかは全く関係なく、良い行いをしている人だけにやってくるわけでもありません。勉強ができなくても、ちょっと悪いことをしてしまった人にも必ずやってくるものです。人として命を与えられた者は皆、年に1回の誕生日を迎えることができます。このことは、毎月の誕生会でもお話をしていますが、長く生きていくと、ついつい人と比較をしてしまうことが多くなり、「自分は人よりはできている、優秀だ」と安心を覚えたり、逆を言うと「自分はできない、ダメな人間だ」と落ち込むこともよくあると思います。そんな時には誕生日のことを考えて欲しいと思います。喜びに溢れ、そして愛されて誕生した日が誕生日であり、どんな状況にあったとしても、かけがえのない存在であるということを忘れないで欲しいと願っています。

そして、12月はすべての命を与えてくださった神様の御子、イエス様のお誕生日を迎えます。クリスマスです。クリスマスと言え、きらびやかなイルミネーションと共に美味しい食べ物を食べたり、プレゼントをもらったりする楽しく嬉しい日であると世間では思われがちですが、本当のクリスマスは、暗く貧しい世の中に希望の光として神様がイエス様をこの世に授けてくださった日です。

YMCAの幼稚園では、この日の出来事を年長児がクリスマス礼拝の時にメッセンジャーとして聖劇（ページェント）をしてくれます。本来、礼拝を守るときは神様のお話をチャプレンである鈴蘭台教会の柳本先生がしてくださるのですが、このクリスマス礼拝の時だけは、柳本先生ではなく、年長児のお友だちがメッセンジャーとしてこの日の出来事を伝えてくれます。

聖劇は、傍から見ると発表会の劇の1つに見えがちですが、そうではなく神様のメッセージを伝えるものになります。その役割1つ1つに大きな意味があり、どれ1つでも欠けてはなりません。この役が良い、悪いと比較する観念もなく、イエス様の誕生をみんなで喜びをもって迎えることができるように年長児はアドヴェントの時期を通じて、ページェントの準備をしていきます。またその様子を年中児、年少児も見ることでクリスマスの大切さ、そして喜びを感じていきます。YMCAの幼稚園では「クリスマス会」と1つにまとめるのではなく、クリスマス「礼拝」と「祝会」と分けているのも厳かな「礼拝」を皆で守ってから、「祝会」でみなさんと喜びの中でクリスマスをお祝いできることを願って、クリスマスの準備をしていきたいと思っています。

【年主題】

「さあ、漕ぎだそう 奏でよう」

【年主題聖句】

「わたしは道であり、真理であり、命である。」

（ヨハネによる福音書14章6節）

12月主題 「喜び合う」

聖句 「さあ、ベツレヘムへ行こう」（ルカによる福音書2章15節）